



自主練習のポイント

先生方からメッセージが届きましたので、お知らせいたします。

【皆さん、お元気ですか？団員の皆さんもでしょうが、私たちもここまで練習がないと生活に張りがないというか・・・。今月いっぱい事態が収束してくれることを祈りましょう。皆さん、くれぐれもお元気で！！

(自主練習のポイント) — 【水のいのち】の暗譜をしましょう。】

① 歌詞を読む

(黙読) だけでなく (声に出して読む) のがポイント。譜面にかじりつかない、ページまたぎでつかえそうになりそうところをスラッと読めるようにクリアするなど、自分なりの目標をいくつか掲げてクリアしてってください。これはリズム読み練習にも応用できます。

② 歌詞を書き出す。

(書き出す) のは、暗譜するのにとても有効な方法の 1 つです。



③ リズム練習

一人でやっていると自分だけのテンポになってしまうので、今までの稽古録音を聴く、思い出すなどして、合わせる意識をして練習してみてください。テンポが、速くならない、遅くならないを整えるために以下を想像してみてください。

(リンゴを 1 個を 4 分音符一拍分と考えた場合、例えば四分の四拍子を打つとして、1234 と拍を数える間に皆さんの場合、リンゴの大きさが変わってしまうので、これをできる限りリンゴの大きさが変わらない様努めてください。最終的には「拍を団員、ピアニスト、指揮者で互いに聴きあって合わせる」というのが、目的です。



④ 音符付き練習

小声でもお料理しながらでもお風呂に浸りながらでも、もちろん譜面としっかり向き合いながらでも、できることをしてみてください。普段、私が暗譜する時もこの①②③④を繰り返して練習していきます。

暗譜に関しては、どんな方法を取るにしても、ひたすら繰り返すしかありません。

この練習の成果を次回の稽古で楽しみにしております。 (筒井先生、小島先生より) 』